

# ALICANTE

光の都へ青い空をみにいこう



## 知られざる光の都へ ヨーロッパで一番青い空を探しに

アリカンテは「光の都」と呼ばれ、古くはカルタゴ時代からローマ時代まで様々な民族がこの土地を愛してきました。太陽に照らされ、とびきりの青い空の中に輝くその白い町は、今では世界各国からビーチリゾートを目指す観光客で賑わう国際都市。この光の都にはビーチだけではない魅力が潜んでいるのです。

**Alicante**  
City & Beach



# アリカンテで 観る

ぜひ訪れてほしい魅力溢れる人気スポットと隠れた名所をご紹介します。



#alicantecity

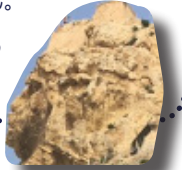
## サンタ・バルバラ城へのアクセス

はビーチ沿いに設置されているエレベーターから。

くだりはサンタクルス地区を通って旧市街を散策すれば、スペインの古き良き時代へタイムトリップ、大聖堂や教会なども見所の一つです。

ビーチ側からみるお城には、モーロ人の横顔という名前がついています。この辺りは絶好の写真スポット。バルの多いこの地区で地元の人に触れ合えば、この横顔にまつわる興味深い伝説も聞けるかもしれません。

また夜のライトアップした姿も一味違う美しさです。



サンタバルバラ城

#castillosantabarbara

サンタ・バルバラ城は、世界的にも珍しく岩山に溶け込む形でそびえ立つ、アリカンテのランドマーク。その昔、要塞として建てられた様子がよくわかります。海拔167mの高さにあり、その歴史は9世紀にまでさかのぼります。頂上から眺める美しいアリカンテの街並みと地中海は一見の価値あります。



## #callede las setas

キノコのモニュメントが続く小さな路地。歩行者天国になっていて、オープンカフェをはじめ、いろんな国の料理が楽しめるレストランやお土産店、小さなショップが並んでいます。

ローカルショップも多く、アリカンテならではのお土産が見つかるかも。大きなキノコと写真を撮るのが定番です。

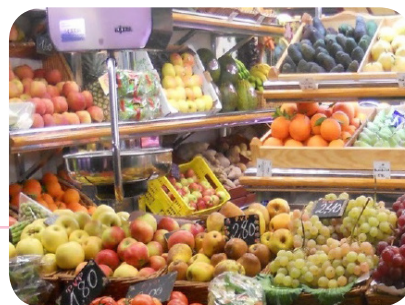
キノコ通り

全長およそ500m。波をかたどった三色のタイルが敷きつめられた、両脇にヤシの木がならぶブロムナードはまるで映画の世界。夜になるとアクセサリーや雑貨などの出店が並び、歩いているだけでも楽しい遊歩道です。

#explanadaalicante



中央市場



20世紀はじめに建設され、モダニズムの要素を汲んだ美しい建物。一見すると市場には見えないかもしれません。

2階建てになっており、鮮魚店、青果店、精肉店や、スペインを代表するハムやオリーブ専門店、食材だけではなくキッチンや家財道具の店、立ち飲みバルなど、300軒近くの店舗が並んでいます。

スペイン一の市場といっても過言ではないほどの品ぞろえを誇る中央市場。種類も多く、品質の高い魚介が揃っており、土曜日になると遠方から買い物に来るお客さんも。

#mercadocentralalicante

アリカンテは、1936年から1939年のスペイン内戦において、83回もの爆撃を受けました。当時の共和国政府の最後の砦であったことから、多くの人が亡命のためアリカンテ港にあつまり、空爆の標的となったため90以上の防空壕が作られました。

スペイン内戦資料センター(Centro de Interpretación de Guerra Civil) では防空壕をめぐるガイドツアーが実施されており内戦時代や戦後の様子を知ることができます。

#refugiosalicante

遊歩道には出店だけではなく、大道芸人や似顔絵アーティスト、画家なども集まります。見るだけでも楽しく、つい時間が経つのを忘れてしまいます。その先には「カナレハス公園」があり、港を眺めながのんびり過ごしたり、お散歩におすすめです。



スペイン遊歩道

## 市場は午前中のみ営業(日曜・祝日はお休み)

スペイン内戦の最後の空爆を受けたのが、この市場。市場入り口には当時のサイレンや止まったままの時計が展示され、床には被災者を偲ぶプレートが敷かれています。ここでは毎年空爆のあった5月25日にメモリアルイベントが開催されています。



スペイン内戦資料センター



資料センターにはスペインでもとても珍しい当時の資料や模型が展示されています。内戦についての知識がなくとも十分興味深く、防空壕では疑似体験も。

見学はガイドツアーのみ(有料、予約制)

<https://turiguiasalicante.com/refugios/>

# アリカンテで遊ぶ

年間300日以上が晴れのアリカンテ。夏も長く、その機会を目いっぱい楽しめるスポットやイベントが満載です！

## ポスティゲッビーチ



### #postiguet

#### 4月から10月ぐらいまで泳げるビーチ

地元市民や観光客で賑わうポスティゲッビーチ。粒子の細かい白い砂浜、透明度の高い海は眺めているだけでも癒されます。遠浅のビーチは子供連れも多く、浜ではビーチバレーやビーチラグビーなども。サンタ・バルバラ城のふもとにビーチが広がっているので、海に浮かびながらお城を眺めるといった贅沢な時間が過ごせるのも魅力です。ビーチにはCHIRINGUITOと呼ばれるオープンテラスのカフェバーがあり、いつも太陽を求める人たちが賑わっています。青い空と海を眺めながら、白い砂浜での朝食や夕暮れ空で嗜むサングリアは格別です。

## タバルカ島



### #tabarca

バレンシア州で唯一の有人島であるタバルカ島は、指定自然保護地区で、手つかずの自然が楽しめます。現在の人口は60人程度。0.3平方キロメートルの小さな島ですが、宿泊施設や飲食店、お土産屋さんが並びます。

アリカンテからは定期船でタバルカ島まで約1時間。

街の喧騒から離れ、シュノーケリングを楽しんだり、ゆったりとした時間を過ごすことができます。タバルカ島で食べるお米料理は絶品です。ハイシーズンはどのレストランもかなり混み合うので予約必須です。

## #hoguerasalicante

サン・ファンのはじめの火祭りは毎年6月に催される「オゲラス」というアリカンテ最大のイベントです。

世界的にも有名なその火祭りは数日に及び、町中には張りぼての人形で作られたモニュメントが立ち並び、朝から晩まで音楽やパレード、メインイベントの爆竹ショーなどが繰り広げられます。

アリカンテの守護聖人サン・ファンの日である6月24日になると、町中の90を超える張りぼて人形が一斉に燃やされてイベントはクライマックスを迎えます。

お祭りは6月24日前後の1週間が見どころ。

25日からは5日間に渡って花火大会が続きます。ポスティゲッビーチからみる大輪の花火は圧巻です。夜中の12時スタートなので、しっかりシエスタ(お昼寝)してからのお出かけがおすすめです。

## アリカンテで

# 食べる

暖かな気候と海に恵まれたアリカンテは美食の街でもあります。お米料理や新鮮な魚介はもちろん、スイーツやワインなども充実していて、心もお腹も満たされること間違いありません。



## 伝統的なお米料理

アリカンテを代表するお米料理。いわゆるバリエア、お米を色々な具材と一緒に炊き込んだ料理です。ひとつ選んで食べるなら、「ARROZ A BANDA」がおすすめです。これは地元の漁師たちから広まった伝統的なお米料理。米と魚と一緒に炊き込むことで「ご飯と魚を一度に調理することができ、「それぞれを別々にして食べる」という意味で、A BANDA(別々にという意味)と呼ばれています。

見た目はシンプルですが、出汁の旨味がきいている一番アリカンテらしいお米料理です。

## アリカンテの郷土バリエア ARROZ A BANDA.

スペイン料理店であれば大抵どこでも食べることができる定番・人気メニューです。魚介の他にも肉や野菜を使ったお米料理が何百種類もあり、それぞれ驚くほど味や食感が違い、毎日食べても飽きが来ません。

### #arrozabanda



## シーフード

アリカンテの伝統的なお菓子といえばトゥロンです。焙煎したアーモンドとハチミツや砂糖、卵白を使った、アリカンテ発祥のスイーツです。アーモンドの香りがギュッとつまんだ、なかなか日本では味わえないタイプのお菓子です。

クリスマスになるとスペイン全国で食べられる特別なお菓子ですが、一年中専門店やスーパーで手に入れることができます。

スペインのクリスマスに欠かせないアーモンドのお菓子はアリカンテの名産品。

アリカンテ産のトゥロンはバレンシア州のハチミツを10%、アーモンドを60%使用しなければいけないという決まりがあります。いくつか種類があり、全て食感が違うのが特徴。チョコレートでコーティングされたものなども人気です。日持ちするのでお土産にもピッタリです。



## トゥロン

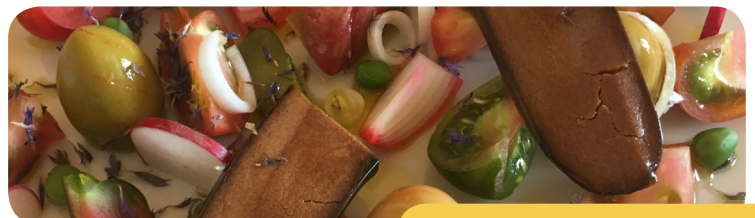
アリカンテはDOPと呼ばれる原産地呼称ワインの産地として認定されています。温暖な地中海気候のおかげで様々な品種が栽培され、現在は40を超えるワイナリーと協同組合でワイン生産を行っています。

モスカテル・デ・アレハンドリア種を使用したスイートワインが有名で、国内外で評価されるワインを生産しています。食前酒やデザートワインとして親しまれています。

### #turrionalicante

地中海に面したアリカンテは新鮮なシーフードが市場に並び、それらを使った料理を楽しめます。SALAZONESと呼ばれる「塩漬け・干物」もアリカンテの伝統的な食材のひとつ。カラスミなどの魚卵はもちろん、マグロやタラの塩漬けなども、そのまま食べたり、サラダに添えたりしていただきます。

### #mariscoalicante



### #vinosdealicante



## ワイン

# アリカンテで 学ぶ

#アリカンテでスペイン語  
#estudiospañolenUA



アリカンテ大学は1979年設立の新しい大学です。モダンな校舎やオフィスが特徴でキャンパス全体は緑に溢れています。図書館、カフェテリア、ジムなどのスポーツ施設、無料Wi-Fiなどキャンパスライフを充実させる設備が整っており、約3万人の学生、職員のうち、約10%が外国人でその国籍は60カ国を超えています。

## 大学キャンパスでスペイン語を学ぼう。

アリカンテ大学の外国人向けスペイン語コースは“使えるスペイン語”を教えることに特化しています。学べるのはスペイン語だけではなく、総合大学のキャンパスで語学だけではなく色々な可能性にチャレンジすることができます。

- 国際色豊かなキャンパスで盛んな異文化交流
- 講師陣はスペイン語教授法の第一人者や研究者
- 読む・書く・話す・聞くのスキルを総合的にスキルアップ
- 初心者から上級者まで幅広く細かなレベル設定
- 受講期間は短期から長期までフレキシブル
- スペイン文化の理解を深めるための豊富なアクティビティ
- 留学生活に欠かせないサポートサービスが充実(宿泊やビザサポート)



アリカンテ大学語学教育センターはスペイン語検定試験、スペイン国籍試験会場に認定されている、公的教育機関です。

Instagram@alcexpjapan

#alicanteexperience



## アリカンテへのアクセス



アリカンテへは、ヨーロッパやスペインの主要都市から飛行機や電車、バスなど様々なルートでアクセス可能です。

### 飛行機で

アリカンテには国際空港があり、日本から直行便はありませんが、ヨーロッパ主要都市、スペイン各地から数多くの便が就航しています。

ロンドン、パリ、アムステルダムから 約2時間半  
マドリード、バルセロナから 約1時間

空港から市内まで:  
タクシー 約15分  
バス 約30分(毎20分運行)

### 電車で

スペイン国内からの移動は電車(Renfe)も便利。アリカンテ駅へはマドリードやバルセロナから高速鉄道AVEやEUROMEDが通っています。

マドリードから 約2時間  
バルセロナから 約5時間